

和気町教育委員会

【開催年月日】 令和2年6月25日（木）

【召集の場所】 佐伯庁舎 町民室

午後3時開会

【出席者】 教育長 徳永 昭伸
委 員 有正 省三
委 員 齊木 孝
委 員 安藤 知春
委 員 國友 道一

【事務局出席者】 万代教育次長・国定学校教育課長・菅崎社会教育課長

【付議した議案】

議案第 9 号 和気町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める規則の一部を改正する規則について

【その他】

- ・令和2年度第3回議会定例会について
- ・GIGAスクール構想について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・令和2年度市町村教育委員会連絡協議会役員承認について
- ・7月定例会の研究会テーマについて
- ・その他
和気清麻呂公顕彰事業による絵本の紹介
調理員の確保について

審議の記録（一部要約）

開会時刻 午後3時開会

徳永教育長 開会挨拶につづき、議事録署名委員に有正委員と齋木委員を指名した。

有正委員 5月30日以降の教育長諸般報告を行った。報告について意見・質問を求めた。
継続的に行われてきた大きな催し物や集会を急に変えることは難しいと思うが、コロナ禍を機会に今の時代に本当に必要かどうかを精査し、場合によっては今後も縮小や廃止を検討していくべきである。

【議事】

徳永教育長 議案第9号「和気町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める規則の一部を改正する規則について」事務局に説明を求めた。

万代教育次長 6月の議会定例会で改正された条例に伴い、放課後児童支援員の県研修受講期間に関する規則を改正する旨を説明した。

徳永教育長 説明について意見・質問を求めた。

有正委員 期間が延びることなのか。

万代次長 そのとおりだ。国基準が、従うべき基準から参酌する基準となったため、資格要件はそのまま、県研修受講期間のみが現在の「令和2年3月31日までに

	研修を終了した者（終了する予定の者を含む）」から、改正後の「令和 5 年 3 月 31 日までに研修を終了した者（終了する予定の者を含む）」となる。
齊木委員	現在、何名の放課後児童支援員が居るのか。
万代教育次長	和気町は児童クラブが4ヶ所有り、3ヶ所は各2名、本荘は他より少し規模が大きいので3名、計9名の放課後児童支援員が在籍している。
徳永教育長	その他に意見・質問を求めたが特になく、全会一致で承認された。
万代教育次長	以上で議事を終了し、その他について事務局に説明を求めた。
徳永教育長	「令和2年度第3回議会定例会について」教育委員会関係の案件を報告した。
有正委員	報告について意見・質問を求めた。
	一般質問について、昨今の社会情勢も相まって、やはりGIGAスクール構想・ICT教育関連への関心が高いようだ。
國定学校教育課長	特にコロナ禍での学習の遅れにどう対応するのかを懸念される方が多かった。課題や指導内容の工夫により今まで以上に効率の良い教育や、行事の精選による時間の活用、また夏季休業日の短縮により、概ね8月末を目途に学習の遅れは取り戻せる見込みである。
有正委員	家庭環境や市町村により学力格差が広がったと思われ、心配はぬぐいきれない。先生の感想や実態はどうなっているのか。また、学校でのフォローはどのようなになっているのか。
國定学校教育課長	中学校では特に配慮が必要な生徒に対して、取り出し指導として臨時休校中から学校へ呼び、個別指導を行ってきた。学校が再開してからはその他の生徒に関しても、どれだけ教えたかではなくどれだけ身に付いているかを重点に置き、1人1人の学力と達成度に合った指導をお願いしている。
有正委員	実態はどうなのか。
國定学校教育課長	結果が目に見えて出てくるのはまだこれからだと思われる。6月末～7月末に年度当初に行う予定だった県の学力テストを実施するので、それが一つの目安になるのではないかと考えている。その結果を踏まえ、8月以降の学習指導を行う予定である。また、補充授業のための指導員・支援員について県から予算を頂いているので、こちらも積極的に活用し、より個に合った指導をしていきたい。
有正委員	できれば7月末頃までに、担任の先生から話を聞くかアンケート等で実態を把握する。また、現在の取組みにおいて実際に結果が出ているかを把握しておいていただきたい。
國友委員	学力テストを行った際には平均点に注目してしまうことが多いが、点数分布や上位層・下位層において、きちんと分析しないと本当に学力差が出てきたのかは分からないので、特に慎重に詳細な分析を行ってほしい。
	また、学校給食の公会計化について、今まで各学校がそれぞれ行っていた給食費の会計を和気町が町会計として取り仕切るとのことなのか。
万代教育次長	そのとおりだ。教職員の負担軽減として実施を検討しているが、先生方にも食数の取りまとめ等の事務は残ってくると思われる。また導入する場合は新

	たにシステムや人員も必要となってくる。せめて滞納処理だけでも町でできないかとは考えている。
徳永教育長	教育職員の働き方改革により国から推進されている制度だが、教材費等は引き続き学校で取りまとめなければならず、全ての負担が無くなるわけではないので、導入には検討が必要である。
國友委員	今まで給食費の滞納者はいたのか。
万代教育次長	何人かは滞納があったと聞いている。担任や教頭等が保護者と話をして、できる限り滞納の出ないように取り組んでいる。
徳永教育長	他に質問・意見を求めたが特になし。
國定学校教育課長	次に、「GIGAスクール構想について」今後の方針や活用計画等を説明した。
齊木委員	ハード面での予算は国から補助が出るが、ソフト面の分は出ない。ソフト面の予算確保は出来ているのか。
國定学校教育課長	ICT支援員は、今年度、町費で予算を組んでいるが、来年度以降はより多くの予算措置をする必要があると思われる。将来的には4校に1人程度のICT支援員が配置される見込みである。
有正委員	大規模な改革を行う事は大変難しく現場の混乱も予想されるので、研修・活用計画をしっかりと立て事前の準備をし、担当者の研修も定期的に行い、その結果を周知させておかなければならない。またそのためには、研修費等の予算の早期確保も重要である。 和気中学校は個別学習を既に取り入れており、宿題を個人に合ったものに変えているという先例もあるので、そこから上手く繋げていけるような活用を考えていただきたい。
國定学校教育課長	ITC機器の活用から、また授業改善の観点からなど、多方面からの意見を取り入れ、推進委員会を組織する予定である。
國友委員	担当を決め、専門性を高めることは教育の質が深まり良いと思うが、転勤等でその人がいなくなった後に滞ってしまう可能性があるので、一部の専門家をつくるのではなく、全ての教育職員が知識や方向性を共有し、学校全体で一丸となって取り組んでもらいたい。特に高齢の教育職員はこの度の改革についていくのが難しい人も多いようなので、そのような人を如何に巻き込んでいくかも課題となってくるだろう。 また、新しいことばかりに目を向けて基礎学力の定着をおろそかにすることのないよう、今まで積み重ねてきた教育を踏まえた上で、新しい教育を組み込むようにしてほしい。
國定学校教育課長	ただ機器を使えるようになるのではなく、機器を活用した学びを通じて能力・資質を育成していくことが目的なので、本来の目的を見失わないように、今までの教育に加えて新しい教育の有効なツールとして上手く活用していきたいと考えている。
徳永教育長	課題は多々あるが、いずれも子供たちのこれからの教育、また社会を生きる力の育成にいかに関わらせていけるかを重点に考え、取り組んでいく予定であ

	る。
有正委員	新しいツールを利用した教育が生まれることによって、不登校や保健室登校など今まで教育を受け難かった子供たちにも可能性が広がるだろう。この辺りで先進的に取組んでいるのは広島県になるのかな。
国定学校教育課長	オンライン学習は広島県が進んでいる。
徳永教育長	他に質問・意見を求めたが特になし。
万代教育次長	次に、「新型コロナウイルス感染症対策について」今後の町主催行事や町有施設の方針などについて報告した。
徳永教育長	少しずつ規制は緩和されてきているが先日も岡山県内で感染者が出ており、なかなか通常通りに戻ることは難しい状況が続いている。
	他に質問・意見を求めたが特になし。
万代教育次長	「令和２年度市町村教育委員会連絡協議会役員承認について」説明をした。
徳永教育長	今年度の役員に齋木委員を指名した。
万代教育次長	「７月定例会のテーマについて」事務局からの案を提示した。以降は委員と事務局が持ち回りで順番に研究テーマを提案することとなった。
徳永教育長	７月定例会研究テーマが「ウィズコロナ・アフターコロナの学校教育及び、不登校対策について」に決まった。
菅崎社会教育課長	その他「和気清麻呂基金の絵本について」、完成を報告した。
徳永教育長	その他のことで、意見・質問を求めた。
有正委員	和気閑谷高校の魅力化について、何か進展はあったのか。
徳永教育長	和気町としては旧日笠小学校を寮に改築して和気閑谷高校に貸し出すことを考えていたが、高校からは現在の学校の空き地に寮の建築を希望する声が上がっていた。だが、現在はコロナ禍の影響もあり、寮の建設に必要なOBからの寄付を確保するのが非常に難しく、旧日笠小学校を改築する方向で進むだろうと思われる。
國友委員	和気閑谷高校にある同窓会館の２階・３階を改装して寮にするという話もあったようだが。
徳永教育長	その案も検討していたが住める人数があまり多くなく、積極的に県外からの生徒を迎えようとするとはやはり寮は必要となってくるとの考えである。
有正委員	寮などの話の前段階のことになるが、野球をする生徒を迎えるということで決まっているのか。
徳永教育長	明確に確定しているわけではないが、主に野球をはじめとしたスポーツをしたい生徒が多いようだ。例年だと約２５％が和気町内から進学していたのだが、おそらく高等学校無償化で私立などにも行き易くなったからか今年度は２０％を切っている。和気町の活性化のためにも和気閑谷高校の存続は大変重要で、そのためには県外からの生徒も積極的に受け入れる必要がある。居住環境の整備は大変重要だ。
國友委員	今年の新入生は有望な者が多いと聞いている。
徳永教育長	和気閑谷高校は現在特色ある教育を推進しているため、その校風に興味を持った明確な目標のある生徒が多く入ってきたのではないかと考えられる。

万代教育次長
徳永教育長

次回教育委員会の開催を8月3日（月）午後3時から開会とした。
閉会あいさつにて散会。

閉会時刻 午後4時40分

議事録署名

委 員 有正 省三

委 員 齋木 孝

教 育 次 長 万代 明